

事業名：【H30補正】_甘味資源作物・砂糖製造業緊急支援事業(さとうきび農業機械等リース緊急支援事業・さとうきび増産推進緊急支援事業

所在市町村等	事業実施主体	実施年度	目標年度	目標1							目標2							事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の所見		
				目標	単位	目標数値						目標	単位	目標数値								
						現状	目標	目標年実績値	目標年達成率	再評価実績値	再評価達成率			現状	目標	目標年実績値	目標年達成率	再評価実績値	再評価達成率			
伊平屋村	伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会	平成30年度	令和2年度	生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産	t	3,578	5,367	5,288	95.6%	5203	90.8%	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	0.00	6.00	0.00	0.0%	9	155.00%	○	○	肥培管理による生産量の増加と土壤診断の目標を目指し、どちらも目標達成。
読谷村	沖縄県農業協同組合	平成30年度	令和2年度	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	4,940	6,238	5,006	5.1%	3891	-80.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	ハーベスターを導入することにより減少した労働時間を肥培管理に充てることで、単収の向上を目指したが、目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。
八重瀬町	合同会社TKF	平成30年度	令和2年度	生産量を5%以上増加	t	2,848	3,242	2,731	-29.8%	2827.2	-5.4%	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	5,362.00	6,477.00	5,226.00	-12.2%	6220	0.7695	○	○	トラクター等を導入することで生産量の増加と、単収の向上を目指したが、どちらも目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。
石垣市	一般財団法人石垣市農業開発組合	平成30年度	令和2年度	10a当たりの労働時間10%以上削減	hr/10a	38.9	28.2	36.6	21.5%	59.5	-192.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	ハーベスターを導入することで労働時間の削減を目指したが、目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。
伊平屋村	沖縄県農業協同組合	平成30年度	令和2年度	生産量を5%以上増加	t	663.9	757.0	715.6	55.5%	704	43.1%	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	3,125.00	4,268.00	3,322.00	17.2%	3384	0.2266	○	○	ハーベスターを導入することで生産量の増加と、単収の向上を目指したが、どちらも目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。
沖縄分蜜地域	公益社団法人沖縄県糖業振興協会	令和元年度	令和3年度	品質取引室の労働生産性を10%増加	t/名	6,467.9	7,114.7	6,105.1	-56.1%	5848	-95.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	分蜜糖工場の労働生産性を向上させることを目標としたが、目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。
沖縄分蜜地域	日本分蜜糖工業会	令和元年度	令和3年度	1人当たりの残業時間抑制	hr	132.0	73.0	117.0	25.4%	115	28.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	一人当たりの残業時間を抑制することを目標としたが、目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。